

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 101

学校名・団体名	阿波市立土成小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	しょうらいに夢と意欲をもつ子どもを育てるキャリア教育
<p>〈活動・研究の意義および活動報告〉</p> <p>1. 活動の意義</p> <p>出前授業として、ゲストティーチャーには、できるだけ児童に身近な地元出身の起業家や職人等を招いた。仕事にまつわる話や職業観、また生き方等についての話を聞くことで職業の社会的な意義や役割、また職業を通しての生きがいなどを考えさせた。次に校外学習で校区内外の商業や工場、また放送局などの職場を訪れ、実際に働く人の姿を見ることで、自分自身を含め、社会の人々の生活を支える様々な職業の尊さを学び、地域や事業所に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持たせる。さらに、職業体験や農業体験などの体験活動を通して、児童のコミュニケーション能力などの実社会における社会人としての適応力や、地域社会の一員としての自覚を高める。これらの活動を通して、勤労観・職業観等の価値観の自己形成や自己確立等、将来の社会的・職業的自立に向けての必要な基盤となる能力や態度を育成する。</p> <p>2. 活動内容（活動時期、学年(教科)および活動内容)</p> <p>(1) 校外学習</p> <p>5/18 (金) 2年(生活科) 「お仕事発見」～給食センターで働く人の様子～（給食センター見学）</p> <p>6/ 1 (金) 3年(社会科) 工場で働く人の様子（土成工業団地／株式会社西精工土成工場見学）</p> <p>6/ 5 (火) 4年(社会科) 地域の安全を守る消防士の仕事(中消防署施設見学) ①</p> <p>6/ 6 (水) 3年(社会科) ケーブルテレビ局で働く人の様子（阿波市ケーブルテレビネットワーク見学）</p> <p>6/22 (金) 2年(生活科) 校区探検「お仕事発見」～土成町で働く人の様子～ ② <small>（小林木材、土成郵便局、篠原観魚園、東邦インテリア）</small></p> <p>6/22 (金) 5年(総合) 情報企業に学ぶ（四国放送、徳島新聞社見学）</p> <p>7/18 (水) 4年(社会科) 地域の生活を支える仕事(吉野川北岸用水／水資源総合管理所見学) ③</p> <p>10/ 5 (金) 3年(社会科) 工場で働く人々の様子（ブレインズパーク／大塚製薬徳島工場見学） 空港で働く人々（徳島阿波おどり空港見学）</p> <p>10/ 5 (金) 4年(社会科) 地域の安全を守る仕事(県立防災センター見学)</p> <p>10/ 5 (金) 5年(社会科) 地域の生活を支える仕事(四国電力／橘湾火力発電所見学)⑤</p> <p>10/19 (金) 3年(社会科) スーパーの仕事(スーパーマルナカ柿原店見学)⑥</p> <p>10/31 (水) 4年(社会科) 地域の生活を支える仕事(四国電力／坂出LNG火力発電所見学) ⑤</p> <p>(2) 体験学習</p> <p>5/22 (火) 6年(総合) 職業体験：キッザニア甲子園での疑似職業体験（修学旅行）</p> <p>5/25 (金) 5年(総合) 農業体験：田植え体験（土成小学校PTA O Bの田を借りる）</p> <p>9/14 (金) 5年(社会科) 農業体験：稲刈り体験（土成小学校PTA O Bの田を借りる）</p> <p>10/ 9 (火) 2年(学活) 農業体験：レタス苗植え体験（学校園）</p> <p>10/10 (水) 3年(学活) 農業体験：ブロッコリー苗植え体験（学校園）</p> <p>1/ 9 (水) 2年(学活) 職業体験：レタス販売体験（土成小学校職員室にて）⑧</p> <p>2/22 (金) 3年(学活) 職業体験：ブロッコリー販売体験（スーパーマルナカ柿原店にて）</p> <p>(3) 出前授業</p> <p>5/29 (火) 4年(社会科) 地域の安全を守る警察官の仕事(講師：土成駐在所 森本宗市郎巡查長) ①</p> <p>6/20 (水) 6年(総合) NPO法人に学ぶ(講師：Kフレンズ代表 日下睦子さん)</p> <p>8/28 (火) 6年(総合) 伝統芸能継承者に学ぶ(講師：三味線奏者 安藤正会さん) ④</p> <p>10/25(木)全学年(学活) 地元出身作家に学ぶ(講師：情報誌ワイヤーママ社長 原田剛さん)</p> <p>11/ 7 (水) 6年(総合) 仕事クラブ「大人カタログ」(講師：えんがわオフィス企画より4名) ⑦</p>	

- 12/ 5 (水) 6年(総合) 菓子職人に学ぶ(講師:菓子工房 MIZUHO パティシエ山本和希さん)
1/28 (月) 6年(総合) ホテル経営者に学ぶ(講師:ホテルソフィア徳島総支配人 梯学さん)
2/ 5 (火) 6年(総合) 企業経営者に学ぶ(講師:株式会社西精工社長 西泰宏さん)⑨

(4) キャリア教育学習発表会

- 2/ 1 (金) 4年(学活) 学習発表会「将来の夢」
6年(総合) 学習発表会「1年間のキャリア教育で学んだこと」

3. 活動の効果

- ① 4年(社会科) 地域の安全を守る消防士の仕事・警察官の仕事
見学している間にも消防車の出動があり、消防士の緊迫した出動の様子を間近に見ることができた。子どもたちは、自分たちの安全を守るために、消防署や警察署などで働くたくさんの人々が、毎日とても真剣に仕事に取り組んでいるということを感じることができ、感謝の気持ちをもつことができた。
- ② 2年(生活科) 校区探検「お仕事発見」～土成町で働く人の様子～
子どもたちが身近な地域に出かけ、町の人々とかかわりをもちながら、様々な仕事をしている場所で、実際にその様子を見たり、直接話を聞いたりした。そして、それらの仕事自分たちの暮らしを支えていることや自分たちの生活を楽しくしていることに気づき、身近な地域に親しみを持ち、町の人々と適切に接したり、安全に気をつけて生活したりする意欲をもつことができた。
- ③ 4年(社会科) 地域の生活を支える仕事「吉野川北岸用水探検隊」
農業用水やダムの水を毎日どのように維持管理しているかを教えていただいた。農業や工業そして家庭生活において、いかに水が大切なものであるか、また、人々が困らないようにするために、そして、貴重な水資源を管理するために、日々多くの人々が日夜働いていることを知ることができた。子どもたちは普段何気なく使っている水の大切さと人々の生活を陰で支える仕事について考える良い機会になった。
- ④ 6年(総合) 伝統芸能継承者に学ぶ
三味線の演奏や長唄を聴かせていただき、三味線の実演に合わせて阿波踊りを踊った。その後、地元徳島の伝統芸能「阿波踊り」に関する話や、伝統芸能を継承し、徳島の文化を広く海外に広める仕事についての講義もしていただき、児童に伝統芸能を後世に伝える仕事の大切さや郷土を愛する心や伝統芸能を大切に受け継いでいこうとする心情を育てる良い機会になった。
- ⑤ 5年・4年(社会科) 地域の生活を支える仕事(橘湾火力発電所・坂出 LNG 火力発電所見学)
発電所の集中管理室で24時間3交代で働いている作業員の方々の様子や発電所の中で働く多くの人々の様子を見せていただいた。また、LNG基地に停泊中のLNG運搬船などについて説明をしていただいた中で、石炭や天然ガスが大きな専用船を使って海外から輸入されていること、自分たちが何気なく使っている電気がこうした多くの人々の力によって、家庭に届けられていることを知ることができた。
- ⑥ 3年(社会科) 暮らしを支える まちで働く人々「スーパーの仕事」
店内の様子や働いている人々の様子、また、バックヤードの奥で働く人々の様子を見学させていただいた。子どもたちは、品物がどのように運ばれ、どのように並べられているのか、店内看板や案内板はどのように設置されているのか、肉や魚、野菜などの生鮮食料品の加工や販売の工夫など学んだ。お店で働く人々の様々な知恵や工夫を教えていただき、自分たちの生活との関わりや働く人々の工夫や努力を知ることができた。
- ⑦ 6年(総合) 仕事クラブ「大人カタログ」(えんがわオフィス企画)
講師には、えんがわオフィスの谷脇研児さんに加え、建築家の高橋利明さん、ドローングラファァーの伊丹迅さん、パティシエ・ショコラティエの吉田紗織さんという阿波市出身の3人の起業家の方にお越しいただいた。それぞれの講師の方からは、子どもの頃はどんな子どもだったのか、そして、どのような過程で今の仕事を選んだのか、そして、現在の仕事の内容やその楽しさなどについて、分かりやすいプレゼンテーションがあった。その後、3つのグループに分かれて、それぞれの講師の方々のお仕事の分野をプチ体験するワークショップを行った。子どもたちは、真剣な表情で講師さんの話に耳を傾け、将来の職業を考えていた。
- ⑧ 2年(学活) レタス販売体験(職業体験)
生活科の学習で育てたレタスの販売体験を行った。レタスは1人2苗ずつ学校園とプランターに植え、水やりや観察をしながら、マルチをかけたたり保温シートで覆ったりと手間暇をかけながら大きく育てた。収穫後は、自分たちで調理して食べ、さらに、チラシや幟などを工夫し、1玉100円で販売体験をした。野菜を作る苦労や収穫の喜び、売る工夫などを通して、農業に携わる多くの人々の努力を知ることができた。
- ⑨ 6年(総合) 企業経営者に学ぶ
校区に工場を構える株式会社西精工の社長、西泰宏さんを講師にお迎えする。西さんからは「働く」ということ対し、どんなイメージをもっているか、自分自身にとって「仕事」をどのようなものととらえるかの話を聞かせていただいた。西さんにとっては何よりも社員の笑顔が大事。優れた良い品質の製品を作り、利益を上げながら、社員やその家族を大切にしていくことが経営者としての自分の仕事であると教えてくださった。西さんの会社経営の理念を聞き、子どもたちは「働くこと」が何を意味するのか、経営者や雇用者にとって「幸せ」とは何かについて、自分なりに考えを深めることができた。

4. 成果と課題

子どもたちはそれぞれの学年に応じ、職業の社会的な意義や役割、また職業を通しての生きがいなどを理解できた。今年度以降も継続して実施し、さらに充実・発展させていきたいと考えている。